

外観



建物は、「緑豊かな大地」と「水滴」をイメージしたデザイン。100の環境手法とともに、「TOTOは人と地球のまいにちに潤いをもたらす環境づくりに貢献する」というメッセージを表現している。

ショールーム内体験トイレ 図面



ショールーム内のトイレコンセプトは「みんなにやさしいユニバーサルデザイントイレ」。ショールーム来館者に、最新設備の使い心地を体験いただくための体験型トイレ。

ショールーム体験トイレ 男性トイレ大便器ブース



ショールームトイレでは、最新型トイレが体験できることに加えて、お子様連れに配慮して、着替えができるフィッティングボードやベビーチェア、おむつ替えシートを設置。

環境配慮



自然換気の促進に加え、太陽熱を除湿や暖房に利用する「ソーラーチムニー」(左)のほか、製造時に発生した廃材や廃棄物を再利用した「陶片蓄熱層」(右上)や「アルミナ玉石」(右下)など、環境技術を結集。

ショールーム体験トイレ 男性トイレ小便器・洗面コーナー



シンプルな意匠、先進の機能性を誇るRESTROOM ITEM 01シリーズの小便器と洗面器。プライバシーに配慮し、小便器の間に仕切りを設置。壁床と小便前板は、防汚・防臭機能を備えたハイドロセラを採用。

ショールーム体験トイレ 女性トイレ全体



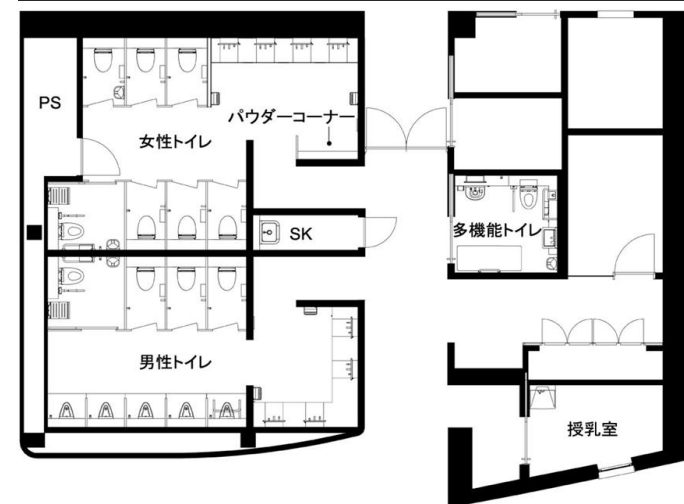
大便器ブースの扉は、使用されていないときは、15°の角度で止まるように設定。大便器ブースの内部を見せることなく、空き状況もひと目で確認できる。

ショールーム体験トイレ 女性トイレ大便器ブース



おすすめの最新トイレを実際に体験できるトイレブース。(右上)ブース内にレストルームドレッサーを施し、住宅のトイレをイメージしやすい工夫。(右下)幼児用便器を設置し、親子一緒に利用できる。

1Fホール トイレ図面



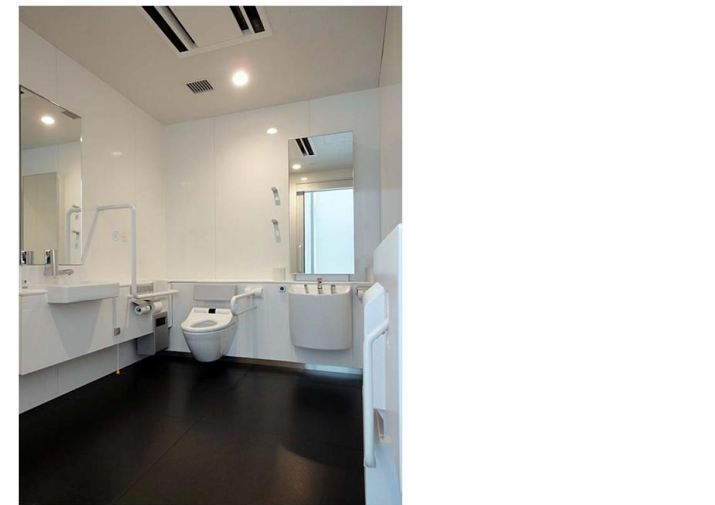
ホールのトイレコンセプトは「みんなにやさしいユニバーサルデザイントイレ」。高齢者やお子様連れ、車いす利用者に配慮し、おもてなしの想いをかたちにした。

1Fホール 女性トイレ洗面・パウダーコーナー



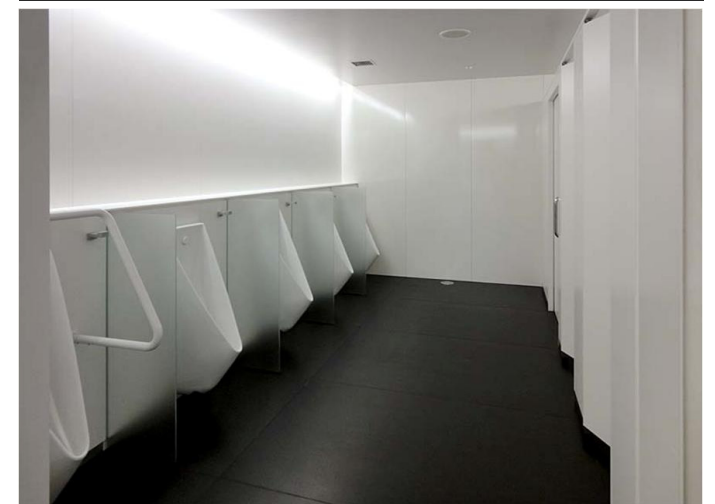
1Fホールは、トイレ設備をRESTROOM ITEM 01で統一。連立したカウンタータイプの洗面器や専用手すり、フック(男性トイレも同様)、便器も含めてトータルなデザインで、空間に統一感を与えている。

ショールーム体験トイレ 多機能トイレ



使いやすさと同時に空間としての統一感のあるデザインを実現した、RESTROOM ITEM 01の多機能トイレバック。壁床材は、防汚・防臭機能を備えたハイドロセラを採用。

1Fホール 男性トイレ小便器・大便器コーナー



シンプルなデザインRESTROOM ITEM 01の小便器。プライバシーに配慮し、小便器の間にすりガラスの仕切りを設けている。壁床材・小便器前板は防汚・防臭機能を備えたハイドロセラを採用。

1Fホール 女性トイレ大便器ブース



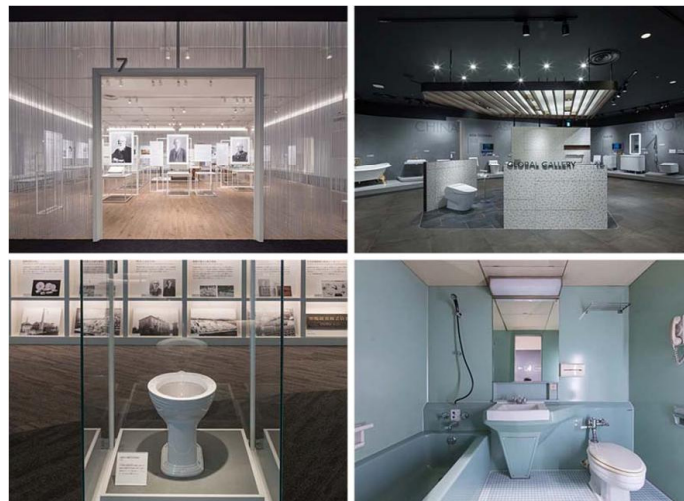
(左)シンプルなデザインと掃除のしやすさ、RESTROOM ITEM 01の壁掛大便器を採用。(右)車いすでアプローチできるひろびろブースには、ベビーチェアやフィッティングボードなども設置。

1Fホール 授乳室



乳幼児連れに配慮し、トイレの向かい側に授乳室を設置。ソファや調乳・手洗い用設備などを施し、乳幼児連れのママがゆったり落ち着いて利用できる。トイレなどの行き先表記は、4ヶ国語の多言語表記。

ミュージアム



ミュージアム(旧歴史資料館)には、創業時からのあゆみや、海外展開商品(左上・右上)、初代腰掛式水洗便器(復元)、初代ユニットバスルームなど、今昔をリアルに感じられる展示空間が用意されている。

ミュージアム トイレ内ショーケース



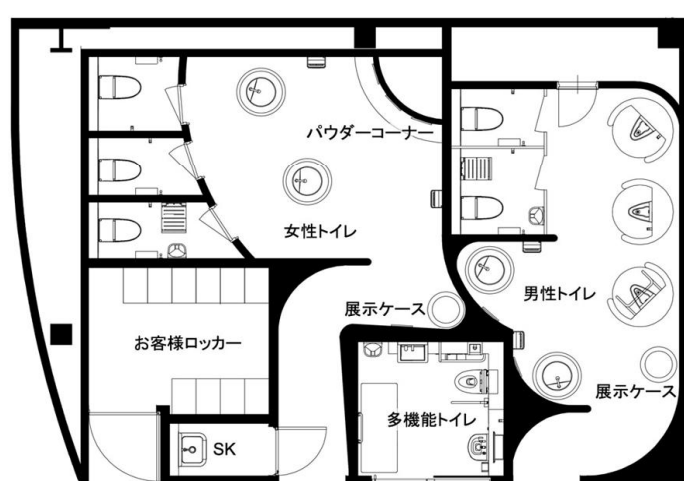
女性トイレには、1952(昭和27)年頃に作られた青色素地が美しい灰皿。男性トイレには、TOTO本社のある北九州市洞海湾にかかる赤く美しい若戸(ワカト)大橋が描かれた器皿を展示。

1Fホール・ミュージアム 多機能トイレ



使いやすさと、空間としての統一感のあるデザインを実現した、RESTROOM ITEM 01の多機能トイレパック。各階の設備は、腰壁の色を変え、1F右勝手・2F左勝手の左右勝手違いとなっている。

ミュージアム トイレ図面



ミュージアムのトイレコンセプトは「ワクワドキドキのエンターテインメントトイレ」。曲線が印象的な建物外観と創業時からのものづくりの想い“常に原点に立ち返る…”からイメージした、円形モチーフデザイン。

ミュージアム 男性トイレ小便器・洗面コーナー



デザイン性の高いRESTROOM ITEM 01の小便器は、プライバシーに配慮して曲面ブースで各々独立して設置。ペッセル式洗面器やカウンターも円モチーフデザインで統一。

ミュージアム 男性・女性トイレ大便器ブース



男女トイレに各1ヶ所づつ、お子様連れに配慮して、ベビーチェアとフィッティングボードを設置。便器は環境に配慮した3.8L洗浄のネオレストとデザイン性の高いスティックリモコンを採用。

ミュージアム 女性トイレ洗面・パウダーコーナー



ゆったりと化粧直しできるパウダーコーナー。幅広のカウンターと個別鏡は、洗面器と同じく円モチーフのデザイン。隣の人が鏡に映りこまないという利点もある。

3F研修施設 男性トイレ全体



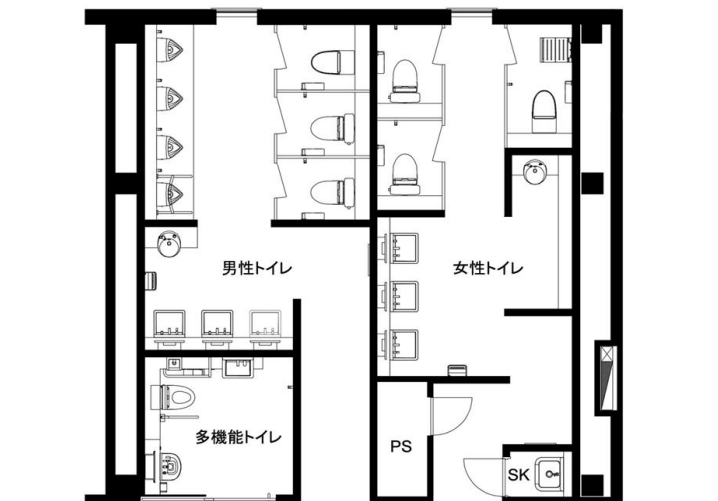
インテリアはショールームやミュージアムのトイレと合わせて、白を基調にした清潔感あふれる空間。

ミュージアム 女性トイレ全体



ペッセル式洗面器やカウンターも円モチーフデザインで統一。大便器ブースの扉は、使用されていないときは、15°の角度で開いて止まり、ブースの内部を見せることなく、空き状況もひと目でわかる仕様。

3F研修施設 トイレ図面



研修施設のトイレコンセプトは「ほっと一息、リフレッシュ&リラクストイレ」。シンプルで機能的なトイレには、研修に参加しているオフィスワーカーへの配慮が施されている。

3F研修施設 男性トイレ洗面コーナー



洗面コーナーは、シンプルなデザインのRESTROOM ITEM 01のスリット排水壁掛洗面器。背面には、長時間を施設で過ごすオフィスワーカーのニーズが高い歯みがき器を設置。

3F研修施設 男性トイレ小便器コーナー



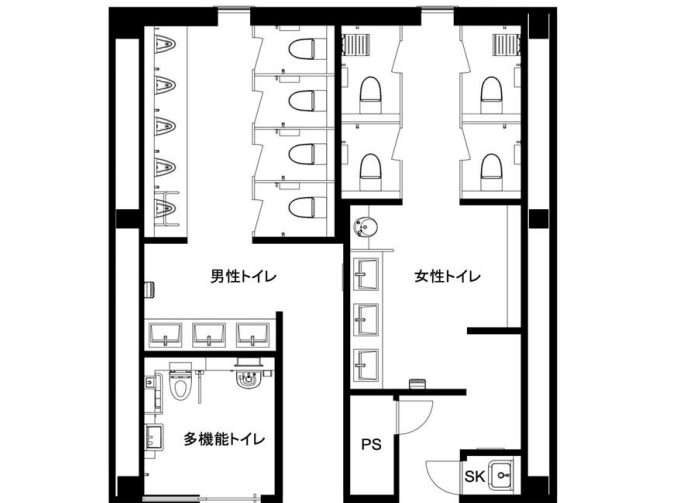
外光降り注ぐ明るく清潔感あふれる空間。小便器は、シンプルデザインと大幅節水を実現させた自動洗浄タイプ。コンパクトデザインで、ライニング高さを1100mm程度まで下げることができ、圧迫感を軽減する。

3F研修施設 女性トイレパウダーコーナー



個別鏡を採用したパウダーコーナーには、化粧直ししやすいように天井に照明を配置。化粧ポーチなど私物が置いておけるオープンタイプの小物入れを設置している。

4F研修施設 トイレ図面



コンセプトは「ほっと一息、リフレッシュ&リラクストイレ」。研修に参加するオフィスワーカーに配慮した、シンプルで機能的なトイレ。

3F研修施設 女性トイレ全体



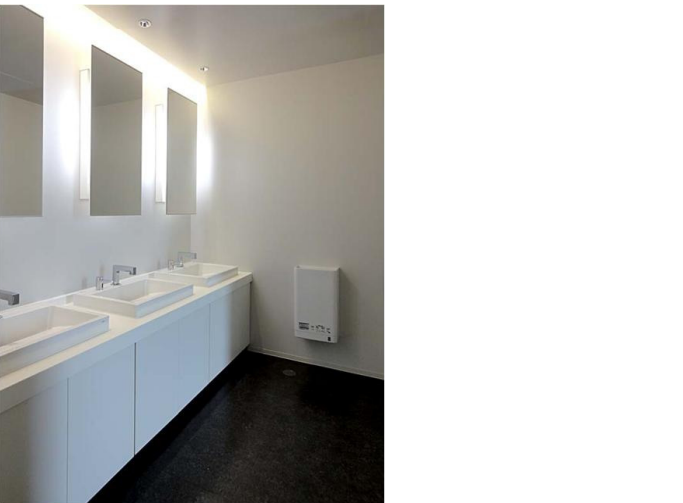
外光降り注ぐ明るく清潔感あふれる空間。右手前は、歯みがき器を設けたパウダーコーナーとなっている。

3F研修施設 女性トイレ大便器ブース



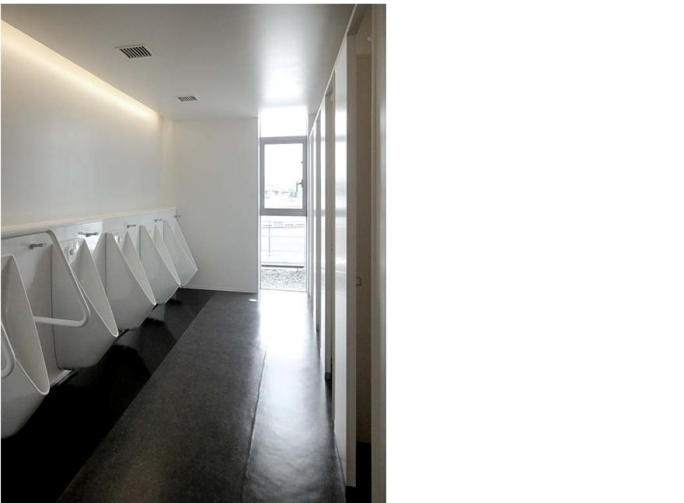
大便器は、環境に配慮した4.8Lのフラッシュタンク式便器とパブリックGGを採用。リモコンは、シンプルな操作性と見やすいボタンのユニバーサルデザインで、押すたびに発電するエコリモコンを設置。

4F研修施設 男性トイレ洗面コーナー



洗面器は、ベッセルタイプにコンテンツボラリタイプの自動水栓を設置。化粧鏡は、顔映りがよくるように配慮し、間接照明(LED)タイプを採用。

4F研修施設 男性トイレ小便器・大便器コーナー



シンプルデザインのRESTROOM ITEM 01の小便器を設置。大便器ブースは、使用されていない時、扉が15°の角度で止まるように設定。ブースの内部を見せることなく、空き状況もひと目でわかる。

4F研修施設 女性トイレパウダー・大便器コーナー



窓から自然光が差し込む明るい空間。スタンディングタイプのパウダーコーナーは、化粧直ししやすいように、天井に照明を配置している。

建築概要

名 称	TOTOミュージアム
所 在 地	福岡県北九州市中島2-1-1 (TOTO本社・小倉第一工場敷地内)
施 主	TOTO株式会社
設 計 管 理	株式会社梓設計
施 工	鹿島建設株式会社
竣 工 年 月	2015年5月

4F研修施設 女性トイレ洗面コーナー



洗面コーナーには歯みがき器を併設。洗面器は、ベッセルタイプにコンテンツボラリタイプの自動水栓を設置。化粧鏡は、顔映りがよくるように配慮し、間接照明(LED)タイプを採用している。

4F研修施設 女性トイレ大便器ブース



環境に配慮した3.8L洗浄のネオレスト(Aタイプ)を設置。リモコンは意匠性の高いスティックタイプを採用。すべてのブースに天然木タイプのインテリアパーを設置し、デザイン性の高い空間に仕上げている。

水まわりの特長

<建物の特徴>
「TOTOミュージアム」は、2017年のTOTO創立100周年記念事業として、2015年に開設。創業の精神やものづくりへの想いととも、新しい生活文化を創造してきた歴史と進化を紹介する施設。一般来館者や関係取引先、地域住民の方との接点の場、また創立の地である小倉から世界へTOTOブランドを発信するランドマークとして魅力ある施設を目指している。TOTOミュージアム(旧歴史資料館)、北九州ショールーム、研修施設、ホールで構成され、建物は「緑豊かな大地」(研修施設・ホール側)と「水滴」(ショールーム側)をイメージしたデザインとし、100の手法による環境配慮を実践している。

<トイレの特長>
TOTOの企業精神を体現する施設にふさわしい、人と環境に配慮したさまざまなアイデアが集結したトイレを創出。ユニバーサルデザインに配慮したショールームやホールのトイレには、左右勝手違いの多機能トイレや授乳室、さまざまな最新設備の体験トイレを設置。また、建材では、防汚・防臭機能を備えたハイドロセラ・フロアやウォールを随所に施すなど、TOTOが誇る最新機器や空間提案が盛り込まれている。インテリアのイメージはミュージアム外観と施設の内装デザインと同じく白を基調としている。